

社会連携プログラム（正課外）

未来の日本のエネルギーは どうあるべきか

～発電所の現場視察を通じて考える～



私たちの生活に欠かせないエネルギー。多くの人があたり前に利用していますが、2011年3月の東日本大震災では原子力発電所の事故により首都圏への電力供給が不足し、計画停電が実施される事態も起こりました。

このプログラムでは、わが国のエネルギーを取り巻く現状や課題を把握するとともに、首都圏に電力を供給する火力発電所や原子力発電所のフィールドワークを通じて、発電所の現場や課題などを深く考察します。学生の皆さんには、今後の日本のエネルギーのあるべき姿について取りまとめ、最後に提案いただきます。

フィールドワーク先は川崎火力発電所（神奈川県川崎市）と柏崎刈羽原子力発電所（新潟県柏崎市）です。貴重な機会となりますので是非お申し込みください！

申込はこちらから→
2025年1月31日（金）
まで



実施日程（全6回）


※詳細は裏面参照

- ① 2025年2月20日（木）13:00～17:00 @法政大学市ヶ谷キャンパス
オリエンテーション/日本のエネルギーについて考える①
- ② 2025年2月28日（金）川崎火力発電所9:45頃集合～13:00頃解散
川崎火力発電所でのフィールドワーク
- ③ 2025年3月5日（水）13:00～17:00 @法政大学市ヶ谷キャンパス
日本のエネルギーについて考える②/グループワーク
- ④ 2025年3月10日（月）東京駅8:00頃集合～21:00頃解散
柏崎刈羽原子力発電所でのフィールドワーク
- ⑤ 2025年3月13日（木）13:00～17:00 @法政大学市ヶ谷キャンパス
日本のエネルギーについて考える③/中間発表/グループワーク
- ⑥ 2025年3月18日（火）13:00～17:00 @東京電力本社（新橋）
最終発表

お問い合わせ

法政大学教育開発支援機構 社会連携教育センター
事務局：学務部教育支援課 kyoiku@hosei.ac.jp

募集要項

募集期間	～2025年1月31日（金）まで	
募集対象	本学に在籍している学部学生（通学課程の正規学生）	
応募条件	本プログラムの課題テーマに関心を持ち、原則以下スケジュール全てへの参加が可能なおこと ※どうしても参加が難しい日時がある場合は、応募フォームにその旨を記入してください。 ※必ず【注意事項】欄の内容を確認の上、ご応募ください。	
募集人数	20名程度	
参加費	なし（ただし、法政大学市ヶ谷キャンパス、東京電力本社（新橋）、FW集合場所（川崎火力発電所・東京駅）までの交通費やプログラム中の飲食費等は参加者負担） ※本プログラムは法政大学後援会の助成及びリーディング・ユニバーシティ法政募金の寄付金を受けて実施しており、東京駅から柏崎刈羽原子力発電所までの新幹線乗車券や、現地視察のためのバスは大学が手配します（参加者の費用負担なし）。	
応募方法	以下URLもしくはQRコードからお申込みください。 https://forms.gle/Z6wZGXkbacEmEFzC6 ※法政大学Gmailへのログインが必要です。	
選考方法	応募者多数の場合は抽選とします。採否結果は、2月5日（水）までにメールにて通知します。	
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・期間中は本プログラムを最優先活動としていただきます。スケジュール管理にご注意ください。 ・本プログラムは正課外活動です（成績評価・単位認定等はありません）。 ・以下の公式なスケジュール以外にも必要に応じて自主的にミーティングやグループワークを実施することがありますので、時間を十分確保してください。 ・プログラム運営上、参加者の学部、学科、学年、氏名を東京電力担当者及びファシリテーターに共有しますので、ご了承ください（個人情報本プログラムの運営目的以外には利用せず、外部にも公開しません）。 ・プログラム中、広報等を目的に画像や映像を撮り、各種HP等に掲載する場合がありますので、ご承知おきください。 ・抽選は厳正に行います。結果に関するお問い合わせに対しては一切お答えいたしません。 	
お問い合わせ	法政大学社会連携教育センター（事務局：学務部教育支援課） TEL：03-3264-4268 E-mail：kyoiku@hosei.ac.jp	

スケジュール（予定）

2月	20日（木） 13:00～17:00	<ul style="list-style-type: none"> ・東京電力ホールディングスの事業内容 ・日本のエネルギー事情・国のエネルギー政策の概要 ・日本のエネルギーに関する課題（電気料金、燃料調達、地政学リスクなど） ・原子力発電をめぐる課題（経済性・安全性・環境問題・稼働状況など） ・ファシリテーターによるグループディスカッション技法等の紹介（ケーススタディ含む）
	28日（金） 川崎火力発電所9:45頃集合～13:00頃解散	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎火力発電所（神奈川県川崎市）でのフィールドワーク（現地視察） ・発電所視察を通じて、首都圏に電力を供給する発電所の現場の状況や課題などを深く考察する
3月	5日（水） 13:00～17:00	<ul style="list-style-type: none"> ・事例紹介：福島第一原子力発電所の事故を踏まえた柏崎刈羽原子力発電所の安全対策 ・各種エネルギーの経済性・安全性・環境配慮・安全供給などの視点からそれぞれのメリット・デメリットについて、グループディスカッションを通じて理解を深める ・ファシリテーターによるプレゼンテーション技法等の紹介
	10日（月） 東京駅8:00頃集合～21:00頃解散	<ul style="list-style-type: none"> ・柏崎刈羽原子力発電所（新潟県柏崎市）でのフィールドワーク（現地視察） ・発電所視察を通じて、首都圏に電力を供給する発電所の現場の状況や課題などを深く考察する ・グループごとに「日本のエネルギー政策は長期的にどのような方向に進むべきか」を考え、発表に向けた提言を検討する
	13日（木） 13:00～17:00	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習した知識やフィールドワークを通じて感じたことを踏まえ、日本のエネルギーの現状や課題を振り返る ・これまで各グループで検討した内容を他グループに発表し、意見交換を行う。また、受け取ったコメント等を踏まえて、最終発表に向けて一層の検討を深める
	18日（火） 13:00～17:00	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループが考える「日本のエネルギー政策は長期的にどのような方向に進むべきか」等の提言を発表する